

瀬戸内海西部での取り組み ～大分・愛媛・山口・広島での取り組み事例～

全国の様々な海域で豊かな海づくりに貢献している JF シェルナース。今回は瀬戸内海西部（大分県、愛媛県、山口県、広島県）での様々な取り組みをご紹介します。

JF シェルナースに集まる メバル！キジハタ！マコガレイ！

メバル幼魚とワカメ



大分県

メバル



キジハタ



愛媛県



キジハタ

広島県



メバル



マコガレイ幼魚



キジハタ



アカモク

キジハタ幼魚の保護に特化！



幼稚魚保護育成礁

山口県

放流したキジハタが大集合！



貝藻くんも大活躍！

地元の貝殻を活用し

貝藻くん（角型基質）を製作



大分県

取り付けしたタコツボで

マダコが産卵



愛媛県



←貝藻くんの紹介映像はこちら

マナマコが夏眠場として利用



山口県

取り付けしたタコツボで

マダコが産卵



広島県



内部から稚ナマコが出現！



内部から稚ダコが出現！



放流したキジハタが隠れ場として利用！



稚ナマコが隠れ場として利用！

貝殻基質を製作

漁業者によるシェルナース基質（貝殻基質）の製作を、広島県では 19 年間、愛媛県では 21 年間、大分県では 24 年間実施していただいています！

